

都市再生整備計画

いわじゆくえきしゅうへんちく
岩宿駅周辺地区

ぐんまけん みどりし
群馬県 みどり市

令和8年3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	□
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	□
まちなかウォークブル推進事業	□

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	群馬県	市町村名	みどり市	地区名	いわじまきしゅうへんらく 岩宿駅周辺地区	面積	41.2 ha
計画期間	令和 8 年度 ~ 令和 12 年度	交付期間	令和 8 年度 ~ 令和 12 年度				

目標
 大目標：岩宿駅を核とした交流拠点の形成
 目標1：岩宿駅の拠点機能の強化
 目標2：安全・快適な道路・交通ネットワークの形成

目標設定の根拠
 都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針)
 ・みどり市では、用途地域を指定していないことから低密度な市街地が無秩序に広がっている。今後、新たな幹線道路等の影響による更なる市街地の広がりが懸念されているため、計画的な市街地形成の推進やまちなまの形成を誘導する等、適正な土地利用による暮らしやすさの向上を図り、将来にわたり持続可能な都市構造の実現を目指す。また、駅周辺では人口減少に伴う生活サービス施設の撤退により自家用車で移動できない人の生活が不便になっているため、駅周辺への都市機能の集積と公共交通によるアクセス向上を図ります。

まちづくりの経緯及び現況
●まちづくりの経緯
 ・みどり市都市計画マスタープランの中で岩宿駅周辺を都市の中核的な拠点として検討している。
 ・岩宿駅は、近隣都市への通勤・通学に必要な交通結節点であるが、アクセス道路や駅前広場、駐車場等のインフラ整備が遅れており、交通渋滞が大きな課題であるため、近接する県道の交差点改良事業が実施されることである。
 ・この県道の交差点改良事業と連携し、駅前広場やパークアンドライド施設の整備による利便性の向上やバリアフリーに配慮した駅舎改修等により、安心して移動できる交通環境を実現させるとともに、駅周辺の市道改良整備や歩行者が安心して歩ける通路等の設置により、駅周辺に所在する市民体育館等の公共施設やポートレース桐生等の集客施設へのアクセス性と駅周辺の回遊性を高め、地域一体とした利便性や魅力の向上を図るため、「岩宿駅を核とした総合的なまちづくりプラン」を令和5年3月に策定したところである。
●まちの現況
 ・岩宿駅は、市内にある駅の中で最も利用者が多く、広域幹線道路である国道50号や主要幹線道路である県道に近接しており、それぞれの沿道特性に合わせて大型商業施設、業務系施設、医療施設等の集積や住居、商店等の集落のまとまりがある恵まれた立地環境にある。
 ・そのため、この優位性を生かしつつ、都市施設の最適な配置により、医療や公共交通を始め買い物などの生活に必要な様々なサービス機能が成り立つ「持続可能なまちづくり」を目指している。

課題
 ①岩宿駅は中核的な拠点であるため、交通結節点としての役割に加え、にぎわいや交流など多様な機能を発揮する拠点としての整備が必要である。
 ②現状の岩宿駅は、北口にしか改札口がないため、朝と夕方には送迎車で駅前広場が混雑しており、その解消が必要である。
 ③岩宿駅周辺では、歩道が整備されていない道路や狭い区間があること、街灯が少ないことから通学等の安全性を確保していくことが必要である。

将来ビジョン(中長期)
■第2次みどり市総合計画
●まちの将来像：輝くひと 輝くみどり 豊かな生活創造都市
●目指す姿と方針
 【公共交通の利便性が高まるとともに、交通弱者の交通手段が確保されます。】→岩宿駅に駅前広場を整備し、鉄道利用者の利便性向上を図る。
 【道路が整備され、安全・快適・迅速に移動することができます。】→都市基盤としての幹線道路や日常生活を支える生活道路、橋梁を整備する。
■みどり市都市計画マスタープラン
●まちの将来像：輝くひと 輝くみどり 豊かな生活創造都市
●地域別構想(阿左美地域)
 【歩道及び自転車ネットワークの整備】→より多くの人に市民体育館等の公共施設を利用してもらうため、岩宿駅からのアクセス性向上を図る。
 【公共交通の整備】→岩宿駅からの鉄道利用を促進するため、関係機関との連携のもと、各駅及びその周辺の利用しやすい環境づくりに努める。
■岩宿駅を核とした総合的なまちづくりプラン
●まちづくり像：なっから輝く ほっと×沼る×岩宿
●まちづくりの方向性
 【岩宿駅の拠点機能の強化】→岩宿駅の駅舎や駅前広場の再整備
 【土地・施設活用による新たな交流拠点の形成】→岩宿駅周辺地区で見込まれる低未利用地等を活用したにぎわい機能の誘導
 【多様な魅力を有する地域資源の活用】→地域資源のPRや活用するための環境整備
 【安全・快適な道路・交通ネットワークの形成】→車中心の道路空間から人中心の道路空間の再編・整備、公共交通ネットワークの強化

都市構造再編集中支援事業の計画
都市機能配置の考え方
 ・本市の都市計画マスタープランの中で定められている地域拠点を基本に設定しており、岩宿駅・阿左美駅周辺を笠懸地区拠点として設定している。
 ・行政、医療、子育て、商業、福祉、文化、金融関連の都市的サービス機能や日常生活に必要な生活サービス機能が徒歩圏(800m)内にあり、利便性が高く、魅力を高めるエリアを設定している。
 ・岩宿駅周辺、国道50号沿いの一部を都市計画マスタープランの地域づくり方針図における「沿道型商業・サービス施設エリア」及び「商業・サービス施設エリア」に設定しており、都市機能誘導区域の基本に設定している。

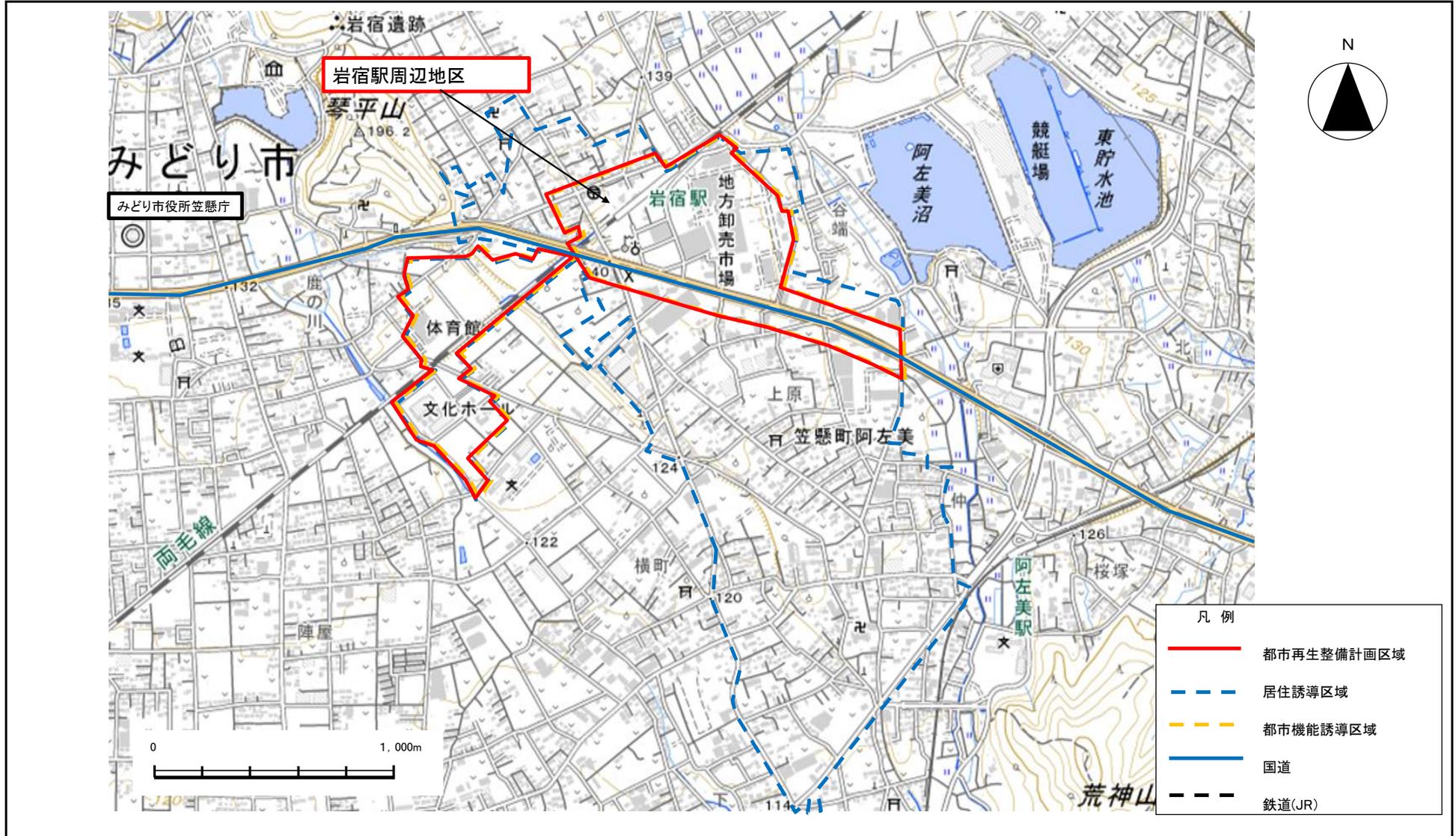
目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	目標値			
				従前値	基準年度	目標値	目標年度
岩宿駅の利用者数	人/日	岩宿駅を利用する1日の平均乗車人数(JR東日本公表データ)	利用者数の増加が、目標に掲げる「岩宿駅の拠点機能の強化」としての機能向上の度合いを示す。	1,167	令和5年度	1,293	令和12年度
岩宿駅でのバス利用者数	人/年	岩宿駅を利用する年間のバス乗降客数(電話でバス・路線バス利用者数データ)	利用者数の増加が、目標に掲げる「岩宿駅の拠点機能の強化」としての機能向上の度合いを示す。	681	令和3年度	2,200	令和12年度
地区内道路の快適性	%	岩宿駅周辺まちづくりアンケートのうち、「道路の渋滞」の改善について改善が必要であると回答(「とてもそう思う」と回答)した割合	地区内道路の快適性への改善意向の低下が、目標に掲げる「安全・快適な道路・交通ネットワークの形成」としての機能向上の度合いを示す。	57.8	令和4年度	50.0	令和12年度
生活道路の満足度(道路空間の安全・快適性)	%	市民アンケートのうち、「生活道路の整備状況の満足度」に対し、阿左美地区(本計画対象エリア)の住民で「満足」または「どちらかといえば満足」と回答した割合	地区内生活道路の満足度の向上が、目標に掲げる「安全・快適な道路・交通ネットワークの形成」としての機能向上の度合いを示す。	17.9	令和3年度	25.0	令和12年度

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>●岩宿駅の拠点機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩宿駅はみどり市の中核的な拠点であることから、交通結節点としての役割に加え、にぎわいや交流、憩いなど多様な機能を発揮するような拠点として、駅前広場の再整備を行う。 ・駅前広場の整備と合わせて、駐車場や駐輪場の整備、分かりやすいサインの導入等による利便性の向上を図る。 	<p>●基幹事業</p> <p>【道路】:岩宿駅前広場整備(北口・南口)</p> <p>【地域生活基盤施設】:駐車場整備(北口・南口)・自転車駐車場整備(北口・南口)、案内サイン設置</p> <p>●関連事業</p> <p>阿左美岩宿交差点・岩宿駅前交差点 ビジネスホテル建設</p>
<p>●安全・快適な道路・交通ネットワークの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの車中心の道路空間から人中心の道路空間の再編・整備や公共交通ネットワークの強化を図ることで、誰でも安全・快適に岩宿駅周辺地区内を回遊できるようにする。 	<p>●関連事業</p> <p>【道路】:歩道整備・道路拡幅、広沢道踏切改善 阿左美岩宿交差点・岩宿駅前交差点</p>
<p>その他</p>	
<p>岩宿駅周辺地区では、市民とのワークショップを通じて「岩宿駅を核とした総合的なまちづくりプラン」を作成し、市民と協働したまちづくりを展開している。</p>	

岩宿駅周辺地区(群馬県みどり市)

面積 41.2 ha 区域 みどり市笠懸町阿左美の一部



岩宿駅周辺地区(群馬県みどり市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目標	大目標：岩宿駅を核とした交流拠点の形成 目標1：岩宿駅の拠点機能の強化 目標2：安全・快適な道路・交通ネットワークの形成	代表的な指標	岩宿駅の利用者数 (人/日)	1,167	(令和5年度) →	1,293	(令和12年度)
			岩宿駅でのバス利用者数 (人/年)	681	(令和3年度) →	2,200	(令和12年度)
			地区内道路の快適性 (%)	57.8	(令和4年度) →	50	(令和12年度)
			生活道路の満足度 (%)	17.9	(令和3年度) →	25	(令和12年度)

